

極秘

陸軍部第二五一

朝鮮密第一〇七號

第十九第二十師團國境守備隊増加定員短

澤春支隊編制改正ニ關スル意見提出ノ件

昭和拾年參月九日

朝鮮軍參謀長大串敬吉

陸軍次官 橋本虎之助殿

首題ノ件別紙ノ通提出ス

別紙ニ部添付

10.3.11 108 軍事課

軍

103 13 東京

103 13

秘

昭和十年三月五日
朝鮮軍司令部

第十九第二十師團國境守備隊增加定員並
琿春支隊編制改正ニ關スル意見

鮮滿國境方面匪賊ノ狀況ハ概テ舊態ノ如ク關東軍不
斷ノ討伐ニ拘ラス地方ニ依リテハ却テ匪賊ノ巢窟地帶ト
ナリ事變前ニ比シ其ノ數ヲ増加セルモノアリ從テ第十九第二
十師團國境守備隊ノ定員ハ一部配置變更ノ要アルモ全般約
ニハ著シク之ヲ減少シ能ハサル狀態ニ在リ

然ルニ一方日滿蘇國境特ニ琿春方面ノ兵備ハ軍ノ作戰上極
メテ重要性ヲ有シ其ノ增強ハ一日モ忽ニスヘカラサルモノアルヲ

以テ概ネ現有國境守備兵力ノ範圍内ニ於テ鮮滿國境方面
ノ守備兵力ヲ最少限度ニ縮減シ日滿蘇國境方面兵力充
實案ヲ立案スルコト別紙ノ如シ

因ニ本案實現ノ爲珥春支隊所要兵舎ハ概ネ從來使用
又ハ借上兵舎ヲ以テ之ニ充當シ得ヘキモ土門子部隊ノ爲ニハ
新ニ約ニ中隊分ノ新築ヲ必要トス

尚諸種ノ關係上差當リ本案ノ實施困難ナル場合ニ於
テハ目下中央部主任課ノ研究ニ係ハル案即チ珥春支隊
ノ兵力ヲ現状ノ儘トシ之ヲ第十九師團第二、第四守備隊方
面ノ兵力ヲ以テ補填シ第十九師團第一守備隊ヲ充實セ

是 方 隊 兵 兵 兵 兵

0146


過渡期ノ案ノ如ク編輯ヲ改正セラルハ長

軍事課



シトスル案ハ本案實施ニ至ル過渡期ノ案トシテ之カ實現
現ヲ希望ス

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2	3	4		
分割撮影 した 理 由	A 3 判以上のため				
上記のとおり分割撮影したことを 証明する					
8 年 9 月 4 日					
主務者又は					
撮影立会者 坂根嘉和 					

編制改正要旨

一、現編制定員(數)ヲ基礎トシ其ノ範圍内ニ於テ新ニ増減
支隊(本部歩兵四中隊、砲銃隊一隊)ヲ編成ス之カ爲整
理縮小セントスル部隊左ノ如シ

イ、鐘城、三長、厚昌、慈城、渭原、碧潼守備隊ヲ廢止ス
ロ、惠山鎮、江界守備隊ヲ中隊ニ縮少ス

ハ新義州、昌城守備隊ヲ縮少ス

越江部隊ハ帽兒山外岔溝守備隊ヲ殘置シ通溝ハ

蒲石河守備隊ヲ撤去ス


永興灣要塞衛兵要員ヲ廢止ス

ニ將來平壤―江界―滿浦鎮鐵道完成スルトキハ江界守備隊ヲ廢止シ江界守備隊本部ヲ滿浦鎮又ハ中江鎮ニ移シ璋春支隊第一大隊ニ中隊増加ヲ豫定ス

[illegible]

[illegible]

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1"><tr><td>1</td><td>2</td></tr></table>	1	2
1	2		
分割撮影 した 理 由	A 3 判以上のため		
上記のとおり分割撮影したことを 証明する			
8 年 9 月 4 日			
主務者又は			
撮影立会者 坂根嘉和 			

陸軍平時編制
附表第九號 歩兵聯隊定員増加區分表改正意見

昭和十年三月
朝鮮軍司令部

階級	區分	聯隊		人員	乘馬	人員	乘馬	人員	乘馬	人員	乘馬	人員	乘馬	人員	乘馬	人員	乘馬
		歩兵第廿三聯隊	歩兵第廿五聯隊	歩兵第廿七聯隊	歩兵第廿九聯隊	歩兵第三十聯隊	歩兵第三十一聯隊	歩兵第三十二聯隊	歩兵第三十三聯隊	歩兵第三十四聯隊	歩兵第三十五聯隊	歩兵第三十六聯隊	歩兵第三十七聯隊	歩兵第三十八聯隊	歩兵第三十九聯隊	歩兵第四十聯隊	歩兵第四十一聯隊
中佐																	
少佐																	
大尉																	
中尉																	
特務曹長																	
曹長																	
軍曹(伍長)																	
上等兵																	
一三等兵																	
計																	
二三等生計																	
計																	
縫工長																	
靴工長																	
軍醫																	
看護長																	
看護兵																	
銃工長																	
計																	
合計																	

備考

- (一) 軍曹、伍長ノ定員並伍長勤務タル上等兵ノ數ハ歩兵聯隊ニ於ケルト概テ同一比率ヲ保タシムルモノトス
- (二) 本表ノ外歩兵第七十九聯隊ニ大尉三名ヲ又歩兵第八十聯隊ニ大尉二名、計十一名ヲ増加ス
- (三) 看護兵ノ定員ハ上等看護兵、一三等看護兵各半數宛トス
- (四) 本表ノ外教育ノ必要ト兵若干名ヲ置クコトヲ得

[illegible]